

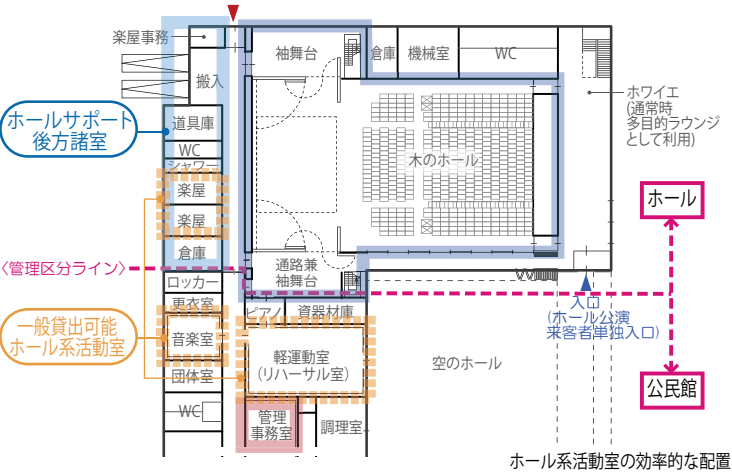
邑楽(ひとが集まる楽しいところ)にふさわしい、  
自然・文化・交流を楽しむ「活動が見える大広間」



- ホワイエは、ホール未使用時は閉鎖もしくは多目的ラウンジとして単独利用出来る計画とします。ホールや楽屋などは、公民館側から一般利用が容易な配置と動線計画とする事で、町民の利用促進を図ります。
- 屋上が展望台となっている別棟陶芸室は中央公園至近に配置して、幅広い利用が期待出来る計画とします。
- 多目的ラウンジや展望ラウンジ等には固定家具を配置して自由な活動の場を提供すると共に、利用者同士の交流の場や周辺施設利用者の休憩スペースを確保します。
- 2階の創作テラスには屋外で利用できる流しを設け、工芸室での屋外作業時の利便性を高めます。また、展望ラウンジと近接することで、オープンキッチンを利用したイベント時にテラス席として利用できます。

## 利用者にも管理者にもやさしい施設

- ・独立型としたホワイエは、通常時は下手袖舞台を通路とした動線で公民館と直結し、ホールや楽屋などの一般貸出も容易な計画です。一方で、興行の際には管理区分ラインによりホール側と適切なセキュリティ管理が可能です。



## 省エネ施設とメンテナンスの簡易性

- ・適切な管理区分により未使用時のエネルギー供給をゾーン毎にカットし光熱費削減に寄与します。また、2階のガラス面は、原則バルコニーや室内からの清掃が容易な計画とします。

## 周辺施設と連携したエリア全体の活用促進

・「空のホール」は、ハードな舗装材を使って屋外ステージや屋外観覧場として利用できる計画とします。音響・照明機器設置バルコニーのほか、床下に簡易な設備トレンチを設けて、イベント時に使える電源や給排水の敷設をします。また、可動の膜屋根システムによって雨天時でも利用できるよう計画します。

- ・「緑のホール」は、芝生広場としてエリア外周部の緑と連携を図ります。ベンチやステージとして活用できる築山を設けて、エリア全体でつくるランドスケープのシンボルをつくります。



木のホテル外形イメージ

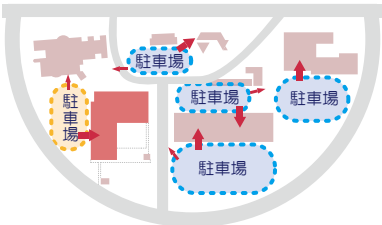


空のホールイメージ



## 緑のホール築山イメージ

- ・駐車場は西側配置とし、専用性を高めて公民館利用者の利便性に配慮します。周辺の駐車場も含めて公民館を取り囲む配置となり、数百人規模の利用時のスムーズな入退場を促します。



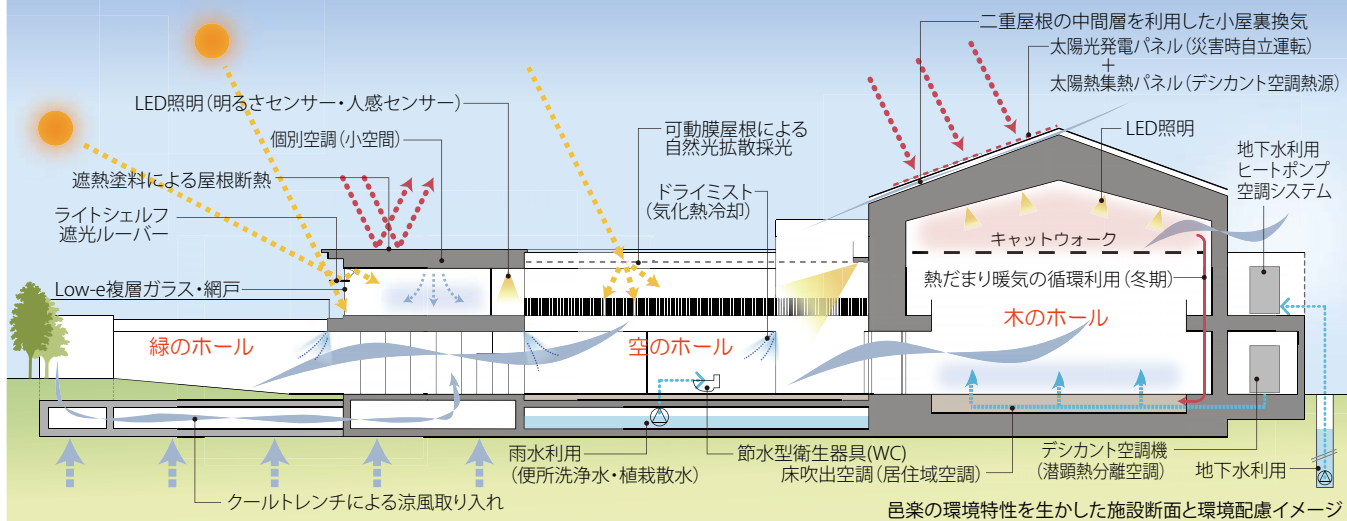
### エリア全体での駐車場の分散配置

- ・本施設は中央公民館単体としてだけでなく、周辺施設との連携、さらに「おうら祭り」「産業祭」などのエリア全体でのイベントにおいても連動性の高い屋外施設計画を行います。

二辺が大きく開かれた空のホールでは、建物の外からでもホールや公民館での活動をうかがい知ることができます。バリアがなく活動に近寄れることで、より多くの人に使ってもらえる施設のきっかけとします。



活動の灯りがホールへの入場者をやさしく迎える



品楽の環境特性を生かした施設断面と環境配慮イメージ

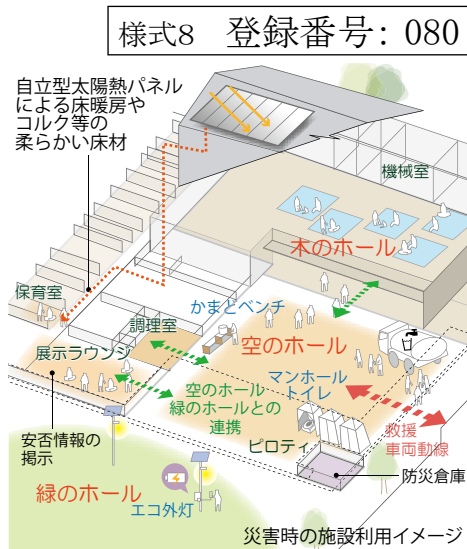


「おうら祭り」時の利用イメージ

- ・構造計画は避難所にも利用できるように、適切な重要度係数とし高い安全性を確保します。

- ・「空のホール(屋外)」と隣接して「木のホール」と「調理室」を配置する事で、連携して災害時の支援を行えるようにします。

- ・自然エネルギー活用をベースとした「災害時に確実に機能するインフラ」を計画します。



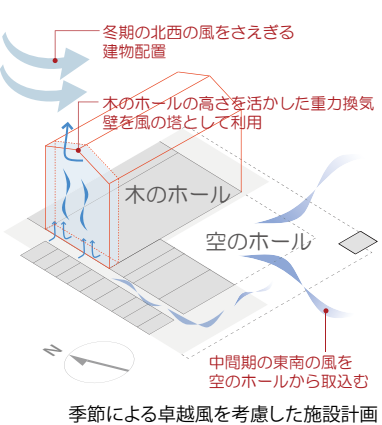
## 災害時の施設利用イメージ

- ・冬期は北西の季節風を遮り、中間期は東南からの風を積極的に取り入れることのできる建物配置です。

- ・高さのあるホール壁面を風の塔として利用し、重力換気により風が建物内を通り抜ける計画とします。

- ・利根川水系の豊富な地下水を利用した熱源システムを検討します。

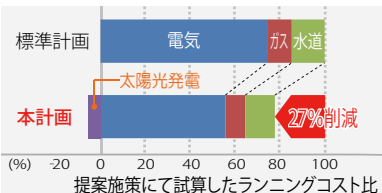
- ・木のホールを中心に県産材を積極的に用いた木質インテリアとします。



季節による卓越風を考慮した施設計画

・施設の消費エネルギー特性を理解した環境技術担当者を中心に、省エネ施策の費用対効果を環境分科会で比較・検証します。維持しやすく社会に貢献できる環境配慮建築を目指します。

- ・高耐久材の選定や汚れにくい納まり、清掃の容易な設えに加え、長期的な修繕を見越して改修足場を必要としない計画をすることで、ランニングコストの約8割を占める「保全費」「修繕費」「運用費」を出来る限り縮減します。
- 
- 提案施策にて試算したランニングコスト比



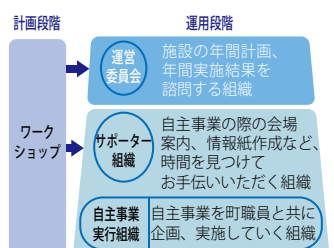
- ・近年の労務事情や資材高騰の社会状況も考慮し、構造・施工への計画的配慮を積極的に行います。

- ・省力化(建設コストの削減)・工期短縮工法を具体的に提案します。

|                  |                                                           |
|------------------|-----------------------------------------------------------|
| 二次部材のプレキャスト化の検討  | 階段・バルコニー等の二次部材について採用検討し、品質確保と現場工程管理を容易にして工事時の環境負荷低減に寄与。   |
| 基礎のラス型枠・鋼製型枠     | 型枠解体時の労務費削減や作業効率の向上を加味した工法を前提に、シンプルで合理性の高い基礎計画を決定。        |
| 屋上防水の仕様選定        | 押えコンクリート無しで耐久性が高い防水材の採用検討。軽量化による躯体費縮減・工期圧縮・将来改修へ配慮。       |
| 建材の既成寸法を考慮した内装計画 | 3×6 板や 4×8 板などの既製品寸法を考慮した天井高さや巾木高などを設定し、材料を有効活用した内装計画の決定。 |
| 鉄筋先組み（RC 部）      | 鉄筋ジャバラユニット工法などの採用も視野に入れ、工期短縮と労務費の削減を実現。                   |

・私たちは初期ワークショップから、将来の組織づくりを睨んだお手伝いをします。

- ・参加者が、開館後も町民の声を反映する  
礎となり、運営をサポートする組織母体と  
なるために、より多くの方々の興味と都合  
に応じて、様々な関わり方ができるよう実  
情に合わせた提案を行います。



町民参加・協働の運用体制イメージ